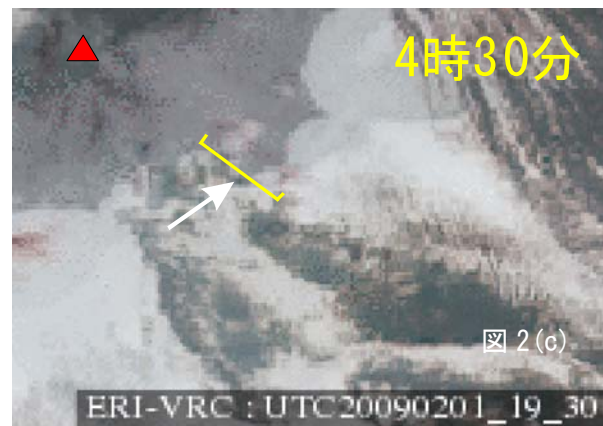
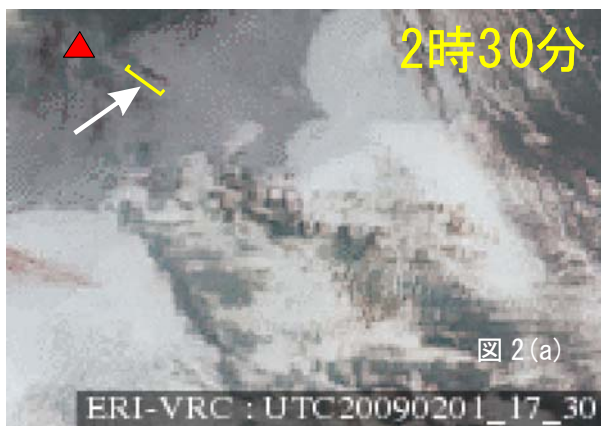
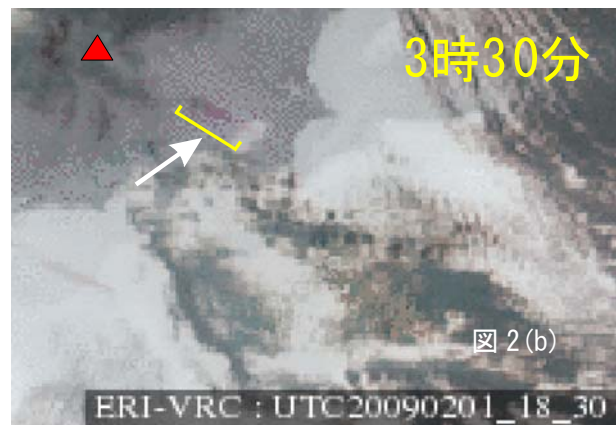


MTSAT で捉えた浅間火山 2009 年 2 月 2 日の噴煙

浅間火山 2 月 2 日噴火に伴って発生した噴煙を MTSAT*の赤外面像によって捉えることができました(図 1, 2). 噴煙は浅間から 130km 離れた東京に約 1 時間 50 分(午前 3 時 40 分頃)後, 房総半島に約 2 時間 10 分(午前 4 時頃)後に到達したと推定されます(図 1).



東京大学地震研究所では東アジアに分布する活火山を衛星データを使って準リアルタイムで観測しています (<http://vrsserv.eri.u-tokyo.ac.jp/REALVOLC/index.html>) .

* MTSAT (Multi-functional Transport Satellite/運輸多目的衛星)は, 我が国の新世代の気象衛星で, 「ひまわり 6 号」, 「ひまわり 7 号」の 2 機が打ち上げられます. MTSAT は, 東経 140 度, 赤道上空の静止軌道に投入され, 全球を 1 時間毎, 南北の半球を共に 30 分毎の頻度で観測しています. センサーは, 可視~熱赤外に, バンド 1: 0.55-0.99 μm , バンド 2: 10.3-11.3 μm , バンド 3: 11.5-12.5 μm , バンド 4: 6.5-7.0 μm , バンド 5: 3.5-4.0 μm , の 5 つのバンドがあります. 分解能はバンド 1 が 1km, バンド 2~5 が 4km となっています. 地震研究所では, MTSAT 画像の直接受信を行っています.

(2009 年 2 月 2 日/東アジア火山衛星観測グループ 金子・安田・田)

問い合わせ: kaneko@eri.u-tokyo.ac.jp